

Network



株式会社アイシーエス

〒020-8544 岩手県盛岡市松尾町17番8号
編集・発行 企画営業統括本部営業推進部
TEL 019-651-2626(代) FAX 019-651-2693
<http://www.ics.co.jp/>

特集

14病院の医事会計システムを半年間でリプレースしています

岩手県医療局様は全国に類を見ない、県内に20の病院と5つの診療センター（図1参照）を運営しています。これら県立病院等は、病床数などの病院規模や標ぼうする診療科が異なり、それぞれ導入されているシステムも異なります。主な情報システムには医事会計システム、電子カルテシステム、オーダリングシステム、財務会計システムおよび各種のサブシステム（図2参照）などがあります。

これら県立病院等のうち14か所では、平成23年度中に医事会計システムのリプレースを行うことになり、アイシーエスが実施することになりました。

これは平成23年9月1日、1病院のリプレースを皮切りに、10月1日に3病院、12月1日に2病院、平成24年1月1日に5病院、2月1日に3病院を一気にリプレースするものです。医事会計システムは、病院の情報システムで中心的な役割を担っていること、そして病院ごとに医事会計システムと接続する各種情報システムや接続機器が異なっていることから、半年間で14病院をリプレースすることは、岩手県医療局様にとってもアイシーエスにとっても重大な作業です。岩手県医療局様は、震災によって被災した病院の復興が最優先事項でしたが、スケジュールを見直しながらも14病院の稼働を進めていただきました。

稼働日の月初めの1日は休日とは限りませんし、月末の前日まで稼働していた医事会計システムを一晩で新医事会計システムに切替するとともに、この新医事会計システムとデータ連携するシステムも同様に稼働しなければならないという難しさがあります。複数病院を一気に同一日にリプレースするため、病院ごとに綿密な導入計画を策定してリハーサルを実施し、慎重に稼働日を迎えています。本誌「Network」が発行される年明けには11病院が稼働しています。

このように多くの病院を半年間で一気にリプレースすることは、全国的にも稀な作業であり、非常に貴重な経験をさせていただいています。

アイシーエスは、これらの経験を活かし、これからも医療機関様に向けたシステムの開発や提供に全力で取り組み、お客様の効率化や地域医療の発展に貢献していきます。

お問合せ先：法人・医療システム営業グループ

TEL：019-651-2626（内線3611） E-mail：ics-sales@ics.co.jp

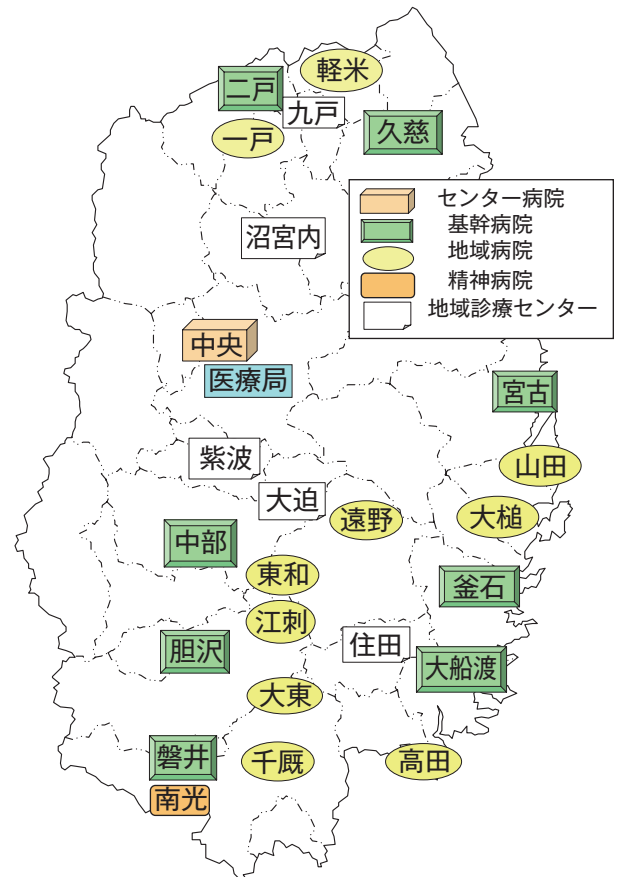


図1 県立病院等の配置図

医事会計システム
電子カルテシステム
オーダリングシステム
財務会計システム
再来受付システム
会計受付システム
栄養管理システム
物品管理システム
看護情報システム
臨床検査システム
放射線システム

図2 導入されている主な情報システム



健康ひとくちメモ

(戸張看護師より)

酢を賢く使う

酢の物やドレッシングなどに普段から使っている酢。健康増進に役立つ様々な働きがあります。

その一つは減塩効果。薄味の料理に酢を少し加えると、味に深みが出たり、味が引き締まっておいしく食べられます。

もう一つは、疲労回復効果です。酢の酸味のもとであるクエン酸が疲労物質を体外に排出する手助けをします。

ほかにも、酸味が唾液の分泌を促し食欲増進につながったり、防腐・殺菌効果もあります。

酢にはさまざまな種類がありますから、特徴を知っておくと便利です。

また、酢の酸味が苦手な人でも、スープや煮物などの加熱する調理は、酢を加えることでまろやかな味になり、酸味もほとんど感じないので食べやすいでしょう。

ちなみに、消費期限の過ぎってしまった酢は掃除に使いましょう。酸性の酢はアルカリ性の汚れを落としてくれます。水垢を落としたり、トイレ掃除にも使っています。

酢の種類と特徴

米酢…まろやかなコクのある酸味。和食に。

穀物酢…すっきり、さわやかな酸味。和・洋・中に合う。

玄米酢…アミノ酸が多い。和食や寿司に向く。

黒酢…アミノ酸が多い。飲みやすい。

りんご酢…りんごの香りと風味。洋風料理、飲用に。

バルサミコ酢…まろやかな味。肉・魚料理に。

ワインビネガー…ぶどうの香り。洋風の料理に。

お客様Now!

今回は国立大学法人弘前大学学術情報部共同センター須藤勝弘様、竹内淑怜様にお話を伺いました。

弘前大学様は、当社よりグループウェアのDesknet's Enterpriseを導入されています。

お二人は2010年3月の機器導入、環境構築でご対応いただき、現在、学内向け利用のサポートをされています。

◆アイシーエスにどのような印象をお持ちでしたか

各種システムの提案をいただくことがありましたが、細かいところまで説明が行き届いていて、キチンとした会社なのだという印象を持っていました。

◆アイシーエスの対応はいかがでしたか。

設計書などのドキュメントがしっかりしており、スケジュールも随時提示されていたことから、それに従って進めていけば良く、意思決定しなければならない事項も具体例で提案があり、安心感がありました。当時は複数のシステムの構築を同時進行で進めていましたが、年度末で忙しい中、学内の先生や他業者とも協力しながら構築できたことは良かったです。

◆導入したグループウェアの状況はいかがですか

当部署では、スケジュールと設備予約、文書管理、ToDoを使っています。Desknet'sは標準で豊富な機能が提供されていることから、教職員や事務職員など利用する方が利用したい方法で使えるよう提供していきたいです。「これを利用すればもっと事務が進めやすくなるのではないか。」と事務職員から相談される事もあり、ゆるやかに広まろうとしています。

◆東日本大震災の際は影響はありましたか

弘前大学では施設の損壊は無く、停電への対応のみでした。復電後、いただいた手順書通りに問題無くシステムを再開できました。機器も2重化されていること、2度の停電でも問題無かったことから、とても安心感があります。

◆アイシーエスに期待すること

アイシーエスは上品な方が多いのか、とても紳士的に対応していただきました。今後もいろいろ情報交換しながら、良い提案をしていただけるとありがたいですね。



須藤様、竹内様



総合情報処理センター



正門から

国立大学法人 弘前大学様のご紹介

弘前大学様は、昭和24年に文理学部・教育学部・医学部からなる大学として発足しました。現在では5学部、7大学院研究科、3研究所、11学内共同教育研究施設等を備える総合大学として運営されています。

敷地内には、旧制弘前高校で学んだ太宰治の碑、文化庁登録有形文化財である「外国人教師館」などが置かれています。



加藤謙一 碑



太宰治 碑



外国人教師館

東北歴史紀行

前九年合戦(八)

ひなみ ゆうへい
～日次と遊兵～

かくして源氏・清原氏の連合軍は、約一万五千の軍勢となって、^{たむろがおか} 営岡を出発し杉山道を通って磐井郡の荻馬場に着いた。

ここは「小松の柵」から約五町（六百メートル）ばかり離れていた。この柵には、安倍貞任、宗任の叔父で僧侶の「良照」が守っていた。良照は「境の講師」と呼ばれ、学問にすぐれた力量を持つ人といわれていた。

いよいよ小松の柵を攻めることになり、戦闘開始となるが、何とこの日は「日が悪く」、また、すでに夕刻になっていたので攻撃はしないことになった。

「日次よろしからず。ならびに晩景におよぶにより攻撃の心なし。」ということであった。

日次は日並のことで、その日の縁起の良し悪し、「日がら」を指す語である。戦いに勝つためには、きっちりと「お日がら」も選ばなければならなかったことになる。

しかるに攻める側の兵たちが、気のはやるままに柵の外にある仮屋に火を放ち、先陣争いをして攻撃を仕掛けてしまった。こうなれば柵内の安倍氏側も黙ってはおられない。

ただちに応戦し、矢を放ち、投石を機に攻撃してくるなど、たちまち戦いとなってしまった。結局、お日がらのよくないその日のうちに、戦闘の火ぶたが切って落とされたのであった。

小松の柵の東と南には、深く流れもある沢があった。西北はあたかも壁のように青い巖に囲まれている。よって攻める方が有利なのか、守る方が優勢になるかは、いずれも予断を許さなかった。

ところが清原軍の深江是則、^{これのり} 大伴員季らは決死の二十余名を率いて、岩を削り、鉾を杖にして岩をよじ登り、柵の下を切り破ったのである。これを機に攻撃軍は力を得、いっせいに柵内になだれ込んだ。

敵味方ともに入り乱れての戦闘になったが、しだいに安倍氏側が崩れ始めた。が、安倍宗任は八百余の騎兵をひきいて、柵外での戦いに挑んだ。これにより官軍の先峰は、その勢いに押され、疲れ果てて氣息奄々たるありさまであった。宗任の果敢な動きによって安倍氏側が勢いを盛り返したのである。

清原武則は、これではならじと、前軍に精強兵を差し向けた。差し向けられた武士団は、頼義軍の地盤たる板東の精兵で「万死に入りて一生を忘れ」て、宗任の軍勢に殺到したという。

いっせいに一生を忘れてとは、生きることを考えず、命を惜しむことなし、という気持ちである。

これによって、さしもの宗任軍もついに後退せざるを得なかったという。

更に官軍方の清原武則は、小松の柵の外部の要所を、次々に支えかつ味方を導入していたところ、突如、安倍宗任の精兵が現れ、「遊兵となって襲来した」という。宗任の遊兵とは、今流に言えば「ゲリラ戦」の先陣ということになるろう。

しかし清原武則らは要所をよく支えて、安倍軍の猛攻を迎え打って、これを退けたのである。

この頃、磐井郡の南の村々においては、安倍宗任の指示により、官軍の物資の運搬や、人馬の往来を禁じていた。このままでは官軍は物資、特にも食料に苦しむことになる。

そこで清原氏は安倍氏を遮り、安倍方の兵を追補するため、兵士千余人を栗原郡に向けて派遣したのである。

また官軍は、食料が急に乏しくなったので、磐井郡の仲村（花泉）に兵士三千人をつかわして稲や粟を刈らせて軍糧に給したのである。

かくして官軍は屯営に休んでいる兵士らは六千五百名。他は食糧集めに仲村に出張。しかも休んでいる兵は疲労していて、気力も十分ではない。

このような様子を観察していた安倍貞任は、今こそ逆襲の最大の好機と見て、ただちにその準備にかかったのである……。



小松柵擬定地
(一関市萩荘谷起島)

こんなところにICS

地方自治情報化推進フェア2011への出展

昨年の初出展に続き、今年も『地方自治情報化推進フェア2011』に出展いたしました。

東京国際展示場(ビッグサイト)において、11月1日～2日の日程で開催されたこのフェアには、全国から61社が参加し、最新の情報システムを展示するとともに、地方公共団体職員向けの講演会やセミナーが行われ、開催期間中は5千名を超える大勢の方々が来場されました。

その中には、アイシーエスの市町村向けパッケージシステム『INSIDE』や『Bestside』をご利用頂いている市町村の職員様もおられ、当社ブースにお立ち寄りになって、励ましの声などを掛けて頂きました。

恐縮するとともに大変感謝しております。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。



いまどきのICS

技術論文発表会 開催

11月9日、入社五年目以上の技術職を対象とした技術論文発表会を行いました。

この発表会は、「業務に対する研究心および創意工夫を養成」「発表技術(プレゼンテーション)の実体験」を狙いとして、毎年開催しているものです。

発表者は、自分の伝えたいことを分かりやすく説明するために論文構成や話し方を工夫したり、自信を持って質疑応答できるように先輩たちを交えた練習を重ねます。その甲斐もあり、今回は例年にも増して、活発な質疑応答が行われました。

発表者は、技術や知識の向上を図ることの大切さを実感しました。

技術論文発表会で培った創意工夫と発表技術は、今後の業務で発揮され、皆様のお役にたてるものと思います。



項番	区分	テ ー マ	所 属	氏 名
1	提案	人事総合システムパッケージの効率的なカスタマイズに向けて	行政システム事業本部	高橋 理美
2	提案	給与計算処理におけるテスト精度向上について	行政システム事業本部	藤澤 和大
3	成果報告	ベースシステムを用いた効果的システム開発	行政システム事業本部	紺野 愛美
4	成果報告	住民税基礎データ作成作業の改善	公共システム事業本部	富田 あやの
5	提案	データ移行における設定工程の問題点と改善点についての検討	公共システム事業本部	高橋 誠二
6	提案	業務担当者増員時における設計知識の共有方法について	公共システム事業本部	川口 健悦
7	提案	上下水道料金システムの商圏拡大を目指したASPサービスの開発	公共システム事業本部	松井 亮
8	提案	卸・メーカー向け受信代行サービスの構築	法人システム事業本部	菊池 伸哉
9	成果報告	現状の細込みソフトウェア開発の問題とモデルベース開発による改善方法	法人システム事業本部	渡辺 裕紀
10	提案	仕様合意に向けたプロセスの検討	法人システム事業本部	佐藤 仁
11	成果報告	処理優先度の調整による信頼性向上	法人システム事業本部	米川 重成
12	成果報告	Wireshark スクリプトの使用によるプロトコル解析時間の短縮について	法人システム事業本部	久保 武志
13	成果報告	医療機器における音源 LSI を用いた発音処理の実装	法人システム事業本部	長谷部 和樹

編集後記

2012年を迎え皆様いかがお過ごしでしょうか。東日本大震災発生から10か月近く経過しようとしています。被災した市町村ではそれぞれ復興計画を立案され、地域住民の生活をより良いものにしようとして努力されています。移転先での住宅地や商店街の形成による新たな街のにぎわいが生まれることも期待しつつ、明るい2012年になることを願っています。

株式会社アイシーエス <http://www.ics.co.jp/> E-mail : ics-sales@ics.co.jp

本 社 : 〒020-8544 岩手県盛岡市松尾町17番8号

TEL : 019-651-2626 FAX : 019-651-2693

一関事業所 : 〒021-0902 岩手県一関市萩荘字下中田9番地1

TEL : 0191-24-3888 FAX : 0191-24-3750

秋田支店 : 〒010-0951 秋田県秋田市山王2丁目1番54号 三交ビル

TEL : 018-865-6171 FAX : 018-865-6121

青森支店 : 〒030-0862 青森県青森市古川2丁目20番6号 AQUA古川2丁目ビル

TEL : 017-722-6560 FAX : 017-732-3602

仙台支店 : 〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町一丁目6番18号 東北王子不動産ビル4階

TEL : 022-722-7622 FAX : 022-722-7644

※掲載記事等の無断転載を禁じます。

